



【感染症だより】

～夏風邪について～

6月29日に記録的な早さで梅雨が明け宣言され、暑い夏がやって来ました。それに伴い、夏風邪もポチポチ出てきました。夏に流行する風邪をひくくめて「夏風邪」と言っていますが、実際夏に流行するウイルス感染症はいくつかあります。代表的な夏風邪は、ヘルパンギーナと手足口病です。原因ウイルスは、エンテロウイルスやコクサッキーウイルスなどです。口の中（手足口病では手、足やおしりにも出来ます）に水疱が出来、約3分の1の人には発熱も伴います。感染すると、3～5日間の潜伏期を経て発症します。初期に熱だけ出て、翌日や3日目にポツポツと水疱が出てくることもあります。発熱と水疱は数日のうちに自然に治ります。口の中が痛くなり、水分摂取や食事摂取が出来なくなることがあります。そんな時は、刺激の少ない飲み物や食べ物を少しずつ与えましょう。熱が下がった状態で、いつものように食事が摂れるようになれば、登園は可能です。

～アデノウイルス～

こちらにも夏に流行するウイルス感染症です。アデノウイルスには型が何十種類もあり、プール熱、結膜炎、胃腸炎、膀胱炎など様々な病気を引き起こします。プール熱は咽頭結膜熱とも言われ、39～40℃の高熱が5日前後続きます。アデノウイルスに特効薬は無く、治療は対症療法となります。水分摂取と安静を保ち、脱水症を起こさないように努めましょう。感染力が強いため、解熱後も2日間は登園出来ません。

表：6月しみず小児科・内科クリニックで診断された流行性の感染症

	感染症	患者数
1	胃腸炎	190
2	溶連菌	84
3	咽頭アデノウイルス	15
4	ヘルパンギーナ	11
5	アデノ胃腸炎	4
6	口夕胃腸炎	2
7	水痘	1
8	手足口病	1

★病児保育室あんずからのお知らせ★

4月から、**空き状況**をWebで確認出来るようになりました。携帯電話でも同様に**しみずクリニック**の予約ページから確認出来ます。表示が空きになっていても、病気の種類や時間差で入れない場合がありますので、ご注意下さい。ご予約は必ずお電話でお願い致します。

文責： 清水マリ子

